

アフガニスタンと日本 ～命を支える現場から～



講師

レシャード・カレツド氏

医療法人社団健社会 レシャード医院 院長
認定NPO法人カレズの会 理事長

日本国内で高齢化社会が進むにつれて医療や介護の需要が増している。地方におけるその対応は在宅医療を担う医師や訪問看護師の不足によって思うように実行されていないことがある。多職種連携によって在宅看取りをはじめ、多くの課題を乗り越える必要がある。その実態と工夫をまとめて報告したい。

一方で、国際情勢が不安定化するこの頃、多方面の支援と寄り添いを必要としている人々が増す傾向にある。この層にどのような医療サービスを届けるかは重要な課題である。ペシャワール会の故中村先生は、十分な食糧が与えられない患者は薬剤投与だけでは完治しないという発想から農業支援に主体を移し、多くの成果を上げてきた。我々はNPO法人カレズの会を通して、医療と教育の分野でアフガニスタンの南西部地方で活動を広げ、約70万人の患者に無料で治療を行ってきた。

支援を必要とする人へ医療や食糧を届けるという目標の達成のために実効性のあるプロジェクトの立ち上げ、そして限られた可能性を最大に活用することが課題である。今回、このような需要とその対策をまとめてお話ししたい。

講師プロフィール

1976年京都大学医学部卒業。
島田市民病院や西日本各地の病院で勤務の後、1993年静岡県島田市にレシャード医院開業、院長を務める。
1995年に医療法人社団健社会を設立し、1999年介護老人保健施設アポロン、2003年には社会福祉法人島田福祉の杜、特別養護老人ホームあすか設立。2011年介護複合施設アポロン伊太設立。社会福祉法人、医療法人ともに設立時より理事長を務める。

2002年アフガニスタン支援NGO「カレズの会」発足、理事長。
2004年京都大学医学部臨床教授就任。
2008年から2012年まで島田市医師会会長を務める。地域医療に貢献する傍ら海外でも医療奉仕活動を続け、2009年には第61回保健文化賞受賞など数々の賞を受賞。



参加費無料 / 事前申込制

どなたでも参加申込いただけます
参加される申込フォームよりお申込みください



宮崎県保険医協会ホームページからも
お申込みできます

※定員に達した場合は、お申込みをお断りする場合がございますので予めご了承ください。

※会場の地下駐車場には数に限りがございます。満車の場合は、近隣のコインパーキング等をご利用ください。

とき

令和4年
7月16日(土)
午後4時40分～6時10分

*開場は午後4時から(どなたでも参加できます)

ところ

アートホテル宮崎スカイタワー
宮崎市高千穂通2-1-26
TEL (0985) 31-1111
3階「浜木綿」

定員

●会場参加 50人
●Web参加 500人
(Zoomウェビナー)

申込
締切

7月8日(金) 午後5時まで

お問い合わせ先

宮崎県保険医協会

〒880-0056 宮崎市神宮東3丁目4-21
☎(0985) 29-9516 ☎(0985) 29-1256

宮崎県保険医協会



<http://mh01.miyazaki-hk.jp/>